

ON-VEHICLE CUP HOLDER

Patent Number: JP2001063439
Publication date: 2001-03-13
Inventor(s): HAMAMOTO YOSHIAKI
Applicant(s): NIFCO INC
Requested Patent: ☐ JP2001063439
Application Number: JP19990240805 19990827
Priority Number(s):
IPC Classification: B60N3/10
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To allow cups different in their diameters to be held, to an on-vehicle cup holder.

SOLUTION: This cup holder 10 is provided with plates 40-45, a guide means 22 and a mounting face 22. The plates 40-45 are composed of plural sheets, for example six sheets, and have cup holes 40-45 different in diameters. The guide means (for example, protrusions 40c-45c and guide grooves 51) holds the plural plates 40-45 to be slidable while separated vertically, the plural plates are overlapped each other vertically in a storage position, and the each plate 40-45 is slid to be pulled out to a using position. The mounting face is positioned in a lower side of the cup hole 40-45 of at least one plate 40-45 pulled out in the using position, and a bottom of a cup is mounted thereon.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-63439

(P2001-63439A)

(43) 公開日 平成13年3月13日 (2001.3.13)

(51) Int.Cl.⁷

B 6 0 N 3/10

識別記号

F I

B 6 0 N 3/10

データベース (参考)

A 3 B 0 8 8

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平11-240805

(22) 出願日

平成11年8月27日 (1999.8.27)

(71) 出願人 000135209

株式会社ニフコ

神奈川県横浜市戸塚区舞岡町184番地1

(72) 発明者 濱本 吉昭

神奈川県横浜市戸塚区舞岡町184番地1

株式会社ニフコ内

(74) 代理人 100088742

弁理士 竹山 宏明

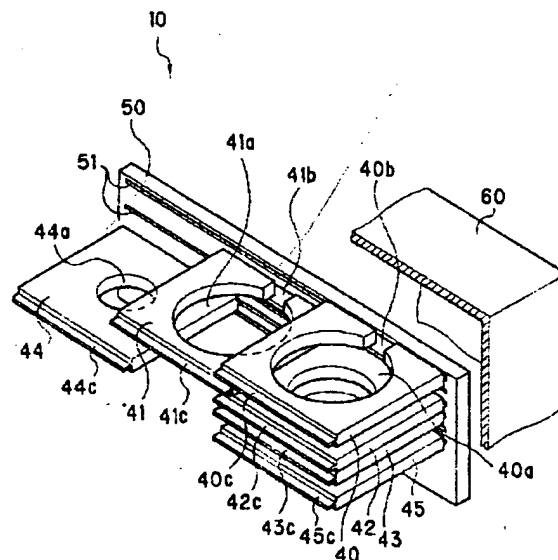
Fターム (参考) 3B088 LA02 LB01

(54) 【発明の名称】 車載用カップホルダー

(57) 【要約】

【課題】 車載用カップホルダーに関し、径の異なるカップを保持することができるようにしたものである。

【解決手段】 カップホルダー10には、プレート40～45と、ガイド手段と、載置面22とを備える。プレート40～45は、複数枚、例えば6枚有り、径の異なるカップ穴40～45を有する。ガイド手段 (例えば突起部40c～45cとガイド溝51) は、複数枚のプレート40～45を上下方向に離れてスライド可能に保持し、収納位置においては、複数枚のプレートが上下方向に重なり合い、収納位置から個々のプレート40～45をスライドさせて引き出して使用位置にスライド可能なものである。載置面22は、使用位置において、引き出した少なくとも一枚のプレート40～45のカップ穴40～45の下方に位置し、カップ30の底が載るものである。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 径の異なるカップ穴を有する複数枚のプレートと、

前記複数枚のプレートを上下方向に離れてスライド可能に保持し、収納位置においては、複数枚のプレートが上下方向に重なり合い、前記収納位置から個々のプレートをスライドさせて引き出して使用位置にスライド可能なガイド手段と、

前記使用位置において、引き出した少なくとも一枚のプレートの前記カップ穴の下方に位置し、カップの底が載る載置面とを備える車載用カップホルダー。

【請求項2】 前記カップ穴の少なくとも一つには、マグカップの取っ手がはまり込むスリットを有することを特徴とする請求項1に記載の車載用カップホルダー。

【請求項3】 前記収納位置には、前記複数枚のプレートを収納する収納ボックスを有することを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の車載用カップホルダー。

【請求項4】 前記複数枚のプレートには、携帯電話を差し込むための差込穴を有するプレートを含むことを特徴とする請求項1～3のいずれか1項に記載の車載用カップホルダー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、車載用カップホルダーに関し、特に径の異なるカップを保持することができるようにしたものである。

【0002】

【従来の技術】従来、収納位置において、複数枚のプレートが上下方向に重なり合うカップホルダーとしては、例えば実開昭62-3337号公報や実開昭62-3338号公報にそれぞれ記載されたものが知られている。上記従来の各プレートは、カップ穴の内径が等しく設定されていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記した従来の各プレートは、カップ穴の内径が等しいため、径の異なるカップを保持することができないという問題点があった。また、上記した従来のカップホルダーは、プレートの回転機構や引き出し機構が有るため、その構造が複雑で、使用時の操作も面倒であるという問題点があった。

【0004】そこで、各請求項にそれぞれ記載された各発明は、上記した従来の技術の有する問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、次の点にある。

(請求項1) すなわち、請求項1に記載の発明は、径の異なるカップを保持することができるようにしたものである。

【0005】これに加えて、請求項1に記載の発明は、従来のカップホルダーに比較して、構造が簡便で、しか

も使用時の操作を簡便に且つ迅速に行うことができるようにしたものである。

(請求項2) 請求項2に記載の発明は、上記した請求項1に記載の発明の目的に加え、次の点を目的とする。

【0006】すなわち、請求項2に記載の発明は、取っ手の有るマグカップを保持することができるようにしたものである。

(請求項3) 請求項3に記載の発明は、上記した請求項1又は請求項2に記載の発明の目的に加え、次の点を目的とする。

【0007】すなわち、請求項3に記載の発明は、収納ボックス内に複数枚のプレートを収納することができるようにしたものである。

(請求項4) 請求項4に記載の発明は、上記した請求項1～3のいずれか1項に記載の発明の目的に加え、次の点を目的とする。

【0008】すなわち、請求項4に記載の発明は、携帯電話を保持することができるようにしたものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】各請求項にそれぞれ記載された各発明は、上記した各目的を達成するためになされたものであり、各発明の特徴点を図面に示した発明の実施の形態を用いて、以下に説明する。なお、カッコ内の符号は、発明の実施の形態において用いた符号を示し、本発明の技術的範囲を限定するものではない。

【0010】また、図面番号も、発明の実施の形態において用いた図番を示し、本発明の技術的範囲を限定するものではない。

(請求項1) 請求項1に記載の発明は、次の点を特徴とする。すなわち、カップホルダー(10)には、例えば図1～2に示すように、プレート(40～45)と、ガイド手段と、載置面(22)とを備える。

【0011】上記プレート(40～45)は、例えば図1～2に示すように、複数枚、例えば6枚有る。なお、プレート40～45の枚数は、6枚に限らず、2枚以上の複数枚であれば良い。前記プレート(40～45)には、例えば図1～2に示すように、径の異なるカップ穴(40～45)を有する。

【0012】前記ガイド手段は、例えば図1～2に示すように、複数枚のプレート(40～45)を上下方向に離れてスライド可能に保持するものである。そして、ガイド手段は、例えば図1～2に示すように、収納位置においては、複数枚のプレートが上下方向に重なり合うようにしている。さらに、ガイド手段は、例えば図1～2に示すように、収納位置から個々のプレート(40～45)をスライドさせて引き出して使用位置にスライド可能なものである。

【0013】上記ガイド手段は、例えば図1～2に示すように、左右のガイド(50)のガイド溝(51)と、各プレート(40～45)の突縁部(40c～45c)とより構成したが、これ

に限らず、左右のガイド(50)に突縁部を、各プレート(40~45)にガイド溝を設けても良い。また、ガイド溝(51)を、収納凹部(21)の相対向する内側面に直接、設け、ガイド(50)を省いても良い。

【0014】前記載置面(22)は、使用位置において、引き出した少なくとも一枚のプレート(40~45)のカップ穴(40a~45a)の下方に位置し、カップ(30)の底が載るものである。なお、上記カップ(30)は、取っ手の有るマグカップ、缶、紙やプラスチック製のコップ、紙パック、ビン、ペットボトル等がある。

(請求項2) 請求項2に記載の発明は、上記した請求項1に記載の発明の特徴点に加え、次の点を特徴とする。

【0015】すなわち、カップ穴の少なくとも一つには、例えば図1に示すように、スリット(40b~41b)を有する。上記スリット(40b~41b)は、図示しないが、マグカップの取っ手がはまり込むものである。

(請求項3) 請求項3に記載の発明は、上記した請求項1又は請求項2に記載の発明の特徴点に加え、次の点を特徴とする。

【0016】すなわち、収納位置には、例えば図1に示すように、収納ボックス(60)を有する。上記収納ボックス(60)は、複数枚のプレート(40~45)を収納するものである。

(請求項4) 請求項4に記載の発明は、上記した請求項1~3のいずれか1項に記載の発明の特徴点に加え、次の点を特徴とする。

【0017】すなわち、複数枚のプレート(40~46)には、例えば図3に示すように、携帯電話(70)を差し込むための差込穴(46d)を有するプレート(46)を含むものである。なお、携帯電話(70)は、PHSや衛星携帯電話を含む概念である。

【0018】

【発明の実施の形態】(図面の説明) 図1~2は、本発明の実施の形態の一例を示すものである。図1は、カップホルダーの斜視図、図2はカップホルダーの断面図をそれぞれ示すものである。

【0019】図3は、本発明の第二の実施の形態の一例を示すものである。図3は、カップホルダーの斜視図を示すものである。

(カップホルダー10) 図中、10は、カップホルダーを示すものである。上記カップホルダー10は、図2に示すように、自動車のセンターコンソール20に埋設状に取り付けられる。

【0020】上記センターコンソール20には、図2に示すように、カップホルダー10がはまり込む収納凹部21が設けられている。カップ30の底は、収納凹部21の底面、すなわち載置面22の上に載る。なお、カップホルダー10の取付位置は、センターコンソール20に限らず、アームレスト、或いは壁面に固定しても良い。

【0021】また、カップ30には、取っ手の有るマグカ

ップ、缶、紙やプラスチック製のコップ、紙パック、ビン、ペットボトル等がある。上記カップホルダー10は、図1~2に示すように、大別すると、次のパーツを備える。

(1) プレート40~45

(2) ガイド50

(3) 収納ボックス60

なお、カップホルダー10のパーツは、上記した(1)~(3)に限定されるものではない。

(プレート40~45) 上記プレート40~45は、図1~2に示すように、複数枚、例えば6枚有る。

【0022】なお、プレート40~45の枚数は、6枚に限らず、2枚以上の複数枚であれば良い。各プレート40~45は、図1に示すように、方形を成し、中央にはカップ30を挿入する、上下に貫通した円形のカップ穴40a~45aをそれぞれ設けている。上記カップ穴40a~45aは、図1に示すように、その内径を異ならせている。

【0023】具体的には、カップ穴40a~45aの内径を、図1に示すように、上方から下方に向かって段階的に小さくなるように設定している。カップ穴40a~45aの内径を上方から下方に向かって段階的に小さくなるように設定したのは、多くの場合、外径の大きなカップ30は、高さが高く、逆に外径の小さなカップ30は、比較的高さが低いためである。

【0024】また、カップ穴40a~45aのうち、幾つか、すなわち比較径の大きなカップ穴40a~41aには、図1に示すように、マグカップの取っ手(図示せず)がはまり込むスリット40b~41bを設けている。

(ガイド50) ガイド50は、左右一対有り、収納凹部21の左右の内側面に相対向して固定される。左右のガイド50の対向間隔は、各プレート40~45の左右の長さ未満に設定され、全長は各プレート40~45の前後の長さの数倍、例えば3倍程度に設定されている。

【0025】なお、各プレート40~45の大きさを等しく設定したが、これに限らず、前後の長さを段階的に変化させても良い。左右のガイド50の対向する内側面と、各プレート40~45の左右両端部との間には、ガイド手段を設けている。ガイド手段としては、具体的には、左右のガイド50の対向する内側面には、図1に示すように、複数本、例えばプレート40~45と同数の6本のガイド溝51をそれぞれ設けている。

【0026】上記各ガイド溝51は、ガイド50の全長方向に長く延び、上下の間隔は、各プレート40~45の板厚以上に設定されている。また、各プレート40~45の左右両端部には、図1に示すように、各ガイド溝51にはまり込む突縁部40c~45cをそれぞれ設けている。なお、左右のガイド50には、ガイド溝51を、各プレート40~45に突縁部40c~45cを設けたが、逆に左右のガイド50に突縁部を、各プレート40~45にガイド溝を設けても良い。また、ガイド溝51を、収納凹部21の相対向する内側面に直

接、設け、ガイド50を省いても良い。

〔収納ボックス60〕収納ボックス60は、図1に示すように、左右のガイド50の前後の一方の端部に位置し、当該端部を上方より覆う。そして、収納ボックス60内には、上下に重なり合うプレート40～45が収納され、この位置がプレート40～45の収納位置となる。

〔使用方法〕つぎに、上記した構成を有するカップホルダー10の使用方法について説明する。

【0027】まず、カップ30を保持するには、当該カップ30の外径に適合したカップ穴40a～45aを有するプレート40～45を、収納ボックス60内から引き出せば良い。すなわち、カップ30の外径が大きな場合には、比較的上方に位置するプレート40～45を引き出し、外径が小さな場合には、比較的下方に位置するプレート40～45を引き出し、当該カップ穴40a～45aにカップ30を挿入する。このとき、カップ30の底は、図2に示すように、載置面22の上に載る。

【0028】なお、カップ30の底が円錐台形にすぼまっている場合には、カップ30がプレート40～45に保持され、その底が載置面22に届かないこともある。また、ガイド50の全長を、プレート40～45の前後の長さより十分に長く設定していることから、図1～2に示すように、複数枚、例えば2枚のプレート40～45を収納ボックス60から引き出し、複数個、例えば2個のカップ30を同時に保持することができる。

【0029】なお、ガイド50の全長を短くし、1枚のプレート40～45しか引き出せないようにしても良いし、逆にガイド50の全長を更に長くし、3枚以上のプレート40～45を引き出せるようにしても良い。

〔第二の実施の形態〕つぎに、第二の実施の形態について、図3を用いて説明する。

【0030】本実施の形態の特徴は、プレート46に、図3に示すように、携帯電話70を差し込むための方形の差込穴46dを設けた点にある。なお、上記携帯電話70は、PHSや衛星携帯電話を含む概念である。本実施の形態によれば、カップ30に加え、携帯電話70を保持することができる。

【0031】

【発明の効果】本発明は、以上のように構成されている

ので、以下に記載されるような効果を奏する。

〔請求項1〕請求項1に記載の発明によれば、次のような効果を奏する。

【0032】すなわち、請求項1に記載の発明によれば、径の異なるカップを保持することができる。これに加えて、請求項1に記載の発明によれば、従来のカップホルダーに比較して、構造が簡便で、しかも使用時の操作を簡便に且つ迅速に行うことができる。

〔請求項2〕請求項2に記載の発明によれば、上記した請求項1に記載の発明の効果に加え、次のような効果を奏する。

【0033】すなわち、請求項2に記載の発明によれば、取っ手の有るマグカップを保持することができる。

〔請求項3〕請求項3に記載の発明は、上記した請求項1又は請求項2に記載の発明の効果に加え、次のような効果を奏する。

【0034】すなわち、請求項3に記載の発明によれば、収納ボックス内に複数枚のプレートを収納することができる。

〔請求項4〕請求項4に記載の発明によれば、上記した請求項1～3のいずれか1項に記載の発明の効果に加え、次のような効果を奏する。

【0035】すなわち、請求項4に記載の発明によれば、携帯電話を保持することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】カップホルダーの斜視図である。

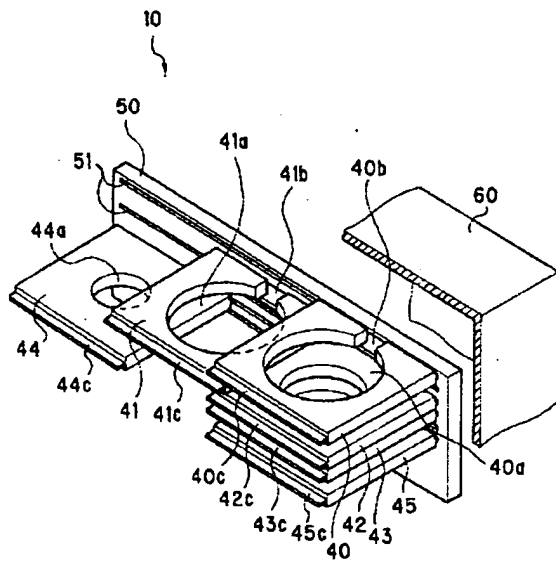
【図2】カップホルダーの断面図である。

【図3】本発明の第二の実施の形態の一例を示し、同図はカップホルダーの斜視図である。

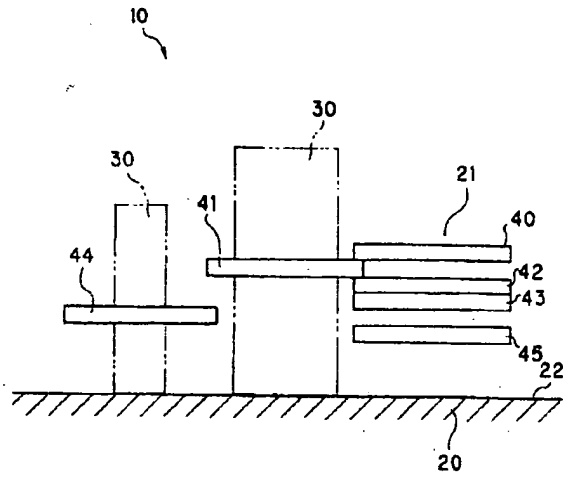
【符号の説明】

10	カップホルダー	20	センターコンソール
21	収納凹部	22	載置面
30	カップ	40～46	プレート
40a～45a	カップ穴	40b～41b	スリット
40c～45c	突縁部	46d	差込穴
50	ガイド	51	ガイド溝
60	収納ボックス	70	携帯電話

【図1】



【図2】



【図3】

